

# 平成21年度「学校版環境ISOコンクール」の取組における概要報告

水俣市立水俣第二中学校

## 1 水俣二中環境教育 ～3つの心を育てる挑戦～ (取組構想図)



**「やっぴょうの心」を育てる挑戦**

**13年に及ぶ伝統 地域ゴミ分別収集への参加**

**全校分別収集学習会 毎年1回5月に実施**

外部講師（市環境クリーンセンターより）による環境美化活動の歴史と分別方法等の学習

**「広めようの心」を育てる挑戦**

**環境新聞の作成**

子どもエコクラブ壁新聞展に出品

校区クリーン活動

↑平成21年度 現在作成中の壁新聞  
環境委員会を中心にこの壁新聞を作成することで、本校の環境に関する取組を自分たちの中でまとめることができます。また、本校の活動内容を広く知ってもらう機会でもありと考えます。

歓迎遠足・写生大会などの行事の時に、昼休みや帰り道でクリーン作戦を行っています。

**学校版環境ISO・今年度の重点取組**

**二酸化炭素の削減**

①本校の二酸化炭素排出量を揭示  
毎月の水道使用量・電気使用量から、二酸化炭素排出量を揭示し、生徒の意識づけに役立てていく。

②校内分別の徹底  
教室、職員室で3種類のゴミ分別（「燃やすもの」「廃プラ」「紙ゴミ」）を徹底することで、燃やすものを減らし二酸化炭素排出量を減らす。

**地域ゴミ分別収集の充実**

①目標参加率90%をめざした取組  
・分別収集日の連絡徹底、毎月の参加率の揭示、参加できなかった生徒への事後指導の徹底

「お知らせコーナー」で毎月の分別収集日・分別収集参加率を揭示しています。

②校内環境検定での行動アンケート調査  
・本校独自に実施している「校内環境検定」で、分別収集に関する取組のアンケート調査を実施

## 2 活動の実際

### (1) 今年度の宣言項目

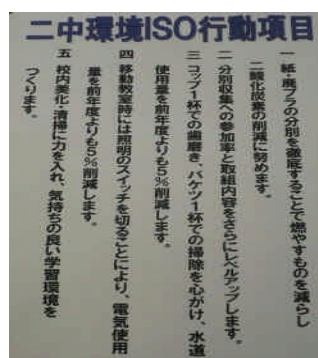
#### 二中環境ISO行動項目（平成21年度）

- ①紙・廃プラの分別を徹底することで燃やすものを減らし、二酸化炭素の削減に努めます。
- ②分別収集の参加率と取組内容を更にレベルアップします。
- ③コップ1杯での歯磨き、バケツ1杯での掃除を心がけ、水道使用量を前年度よりも5%削減します。
- ④移動教室時には照明のスイッチを切ることにより、電気使用量を前年度よりも5%削減します。
- ⑤校内美化・清掃に力を入れ、気持ちの良い学習環境をつくります。

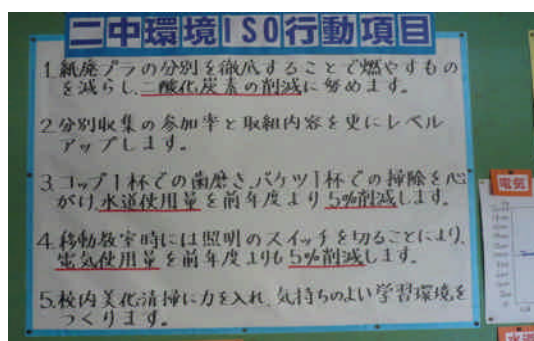
今年度の宣言項目は5項目で、昨年度よりもより具体的で分かりやすい項目を設定しました。  
(下図、写真) 宣言項目のポイントは以下に示す通りです。

#### 《宣言項目のポイント》

- ①水俣市が提唱している二酸化炭素削減について、ISO項目の中に盛り込んだ点
- ②「コップ1杯での歯磨き」や「移動教室時の照明消し」など分かりやすく具体的な行動項目を入れた点



この行動項目は、環境委員会で話し合っ作成し、全校集会で全校生徒に承認を得て、完成しました。  
(写真) 宣言内容を発表する環境委員

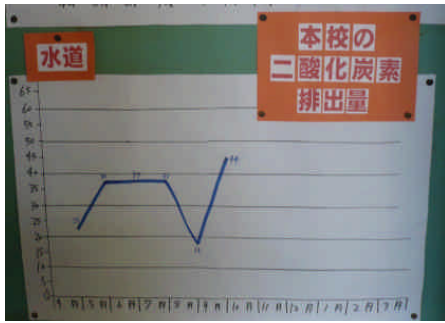


### (2) 行動内容

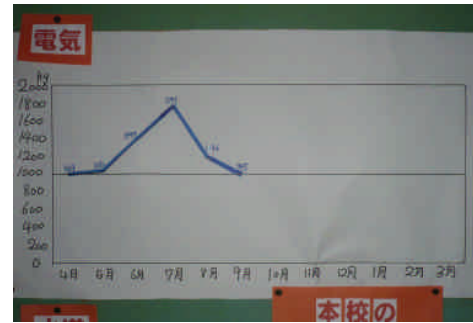
宣言した5項目の中でも、「二酸化炭素の削減」と「地域ゴミ分別収集の充実」の2つを大きなテーマとして取り組んでいます。

#### ア 二酸化炭素の削減

今年度は本校の二酸化炭素排出量を水道使用量、電気使用量の二つの視点からグラフ化して掲示しています。(写真) 毎月、水道・電気の使用量をもとに、環境委員会でグラフ作成を行うことで、目に見えない二酸化炭素について考えることができます。そして、次月、何に気をつけて生活していけば良いかということのヒントにもなっています。



(写真) 水道使用量によるCO<sub>2</sub>排出量



(写真) 電気使用量によるCO<sub>2</sub>排出量

また、昨年度に引き続き「校内ゴミ分別の徹底」も行っています。各教室に3種類のゴミ箱（「燃やすごみ」「廃プラ」「紙ゴミ」）を設置し、分別を行っています。掃除の時には、リサイクルステーションに持ち込まれたゴミについて環境委員がきちんと分別されているかチェックを行い、ゴミ分別の徹底をはかっています。



(写真) 3種類のゴミ箱



(写真) 分別チェックをする環境委員

#### イ 地域ゴミ分別収集の充実

地域ゴミ分別収集については、昨年度の反省として『活動のマンネリ化』や『参加率の低下』などが課題としてあがっていました。そこで今年度、活動方法の見直しを行い、分別収集への参加率目標を90%に設定して活動しています。

活動方法は、分別がある日の放課後に参加する生徒全員を集めて、一斉に各ステーションへ出発します。こうすることで、分別収集があることを知らなかった、忘れていて参加できなかったという生徒は少なくなりました。また、毎月の参加率を掲示し、お昼の放送で環境委員が報告することで、参加率90%という目標達成に向けて全校生徒で取り組む体制ができてきました。



(写真) 分別収集に取り組む生徒たち



(写真) 分別日や参加率のお知らせ

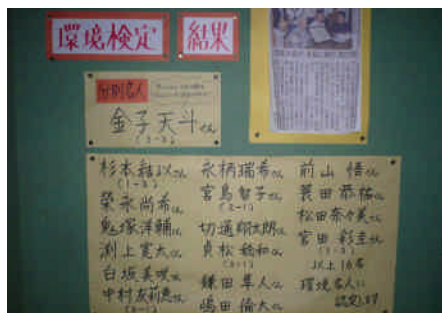
#### ウ その他の活動

本校では『校内環境検定』を実施しています。今年度は1学期（7月）に1回実施しました。この検定の中でも、分別収集に関するアンケートを作成し、自分の分別収集時の振り返り、他の人の活動の様子等を振り返ることができるようにしました。そして、分別収集を頑張っているとたくさんの人から認められた生徒を『分別名人』として表彰しました。



### 《校内環境検定問題（アンケート編） 一部抜粋》

- ・あなたは、地域ゴミ分別収集に参加するとき、地域の方と進んで交流できていますか？
- ・あなたが活動している分別ステーションで、1番よく働いている生徒の名前と、あなたがそう考える理由を答えなさい。



校内環境検定では、得点の高かった生徒を『環境名人』として表彰しています。今回は80点以上得点のとれた生徒を表彰しました。

分別名人については、今年度から認定した名人で、毎月の分別活動に頑張って取り組んでくれる生徒が増えることを期待しています。

### (3) 記録・見直し

二中環境ISO行動項目が実際にできたかどうかを、毎月1回「環境ISOチェック」で振り返ります。振り返りの項目は全部で10項目（下図参照）あり、できた項目には○をつけるという方法で自分の行動を振り返ります。昨年度までは、項目数が多い上に毎週末チェックを行っており、チェックをする全校生徒にとっても集計する環境委員にとっても負担の大きい作業でした。そこで、今年度はチェック項目を少なくし、さらに○×をつけるだけという分かりやすいものに変更し、回数も月に1回としました。こうすることで、生徒たちの負担を軽減でき、かつ、じっくり振り返りを行うことができるようになりました。

個人での振り返りが終わると、各クラスの環境委員が集計をし、クラス平均を出します。その後、平均が高いクラスを掲示し、月末の全校集会で表彰しています。

#### 「環境ISOチェック」の10項目

- 校内のゴミを正しく分別できたか。
- 紙の無駄遣いをしなかったか。
- 忘れ物（体育服・軍手）をせず、分別収集に時間いっぱい参加したか。
- 地域の方々への挨拶や分別作業を積極的にできたか。
- コップ1杯分の水で歯磨きをしたか。
- 水の節約を意識して行動できたか。
- 移動教室の時に、照明のスイッチを消すことができたか。
- 必要のない時（昼休みや掃除時間）に電気を消すことができたか。
- 朝ボランティアに進んで参加したか。
- 教室や廊下に落ちているゴミを進んで拾うことができたか。

### 3 成果（○）と課題（●）

- 毎月の分別収集参加率を掲示板に示すことで、次月の活動への意欲づけになっている。
- ISOチェックを簡素化し月に1回行うようにしたので、生徒の負担も減りチェックのマンネリ感もなくなった。
- 二酸化炭素排出について目に見える形で掲示することで、水や電気の節約を考えて行動できるようになってきた。
- 分別収集への参加率目標を90%以上にしているが、未だに達成できていない。
- さまざまな活動を率先して行う、環境委員や分別収集時のステーションリーダーの育成が不十分である。
- 環境に関する取組（分別収集やISOチェック）について、生徒間で個人差がある。